



活動レポート

2023 年
1 月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2023年1月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取組み

▶ファクトチェック・ナビの更新

1月は、10件の[ファクトチェック結果](#)、16件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

「役に立つリンク集」ページに、[ファクトチェック団体の情報提供受付フォーム](#)、[ファクトチェック団体の求人情報](#)のページを開設しました。（12月28日公開）

▶ファクトチェック通信（メールマガジン）の発行

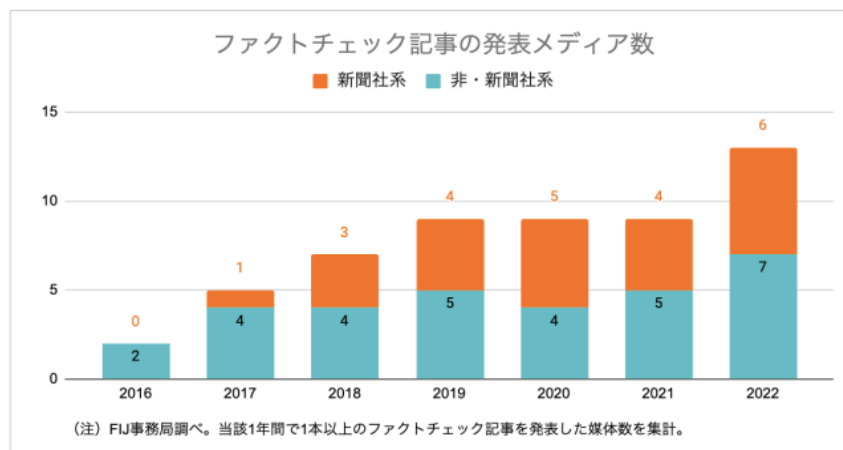
1月31日に「ファクトチェックアワード初開催へ」のタイトルで発行しました。
＜主な項目＞

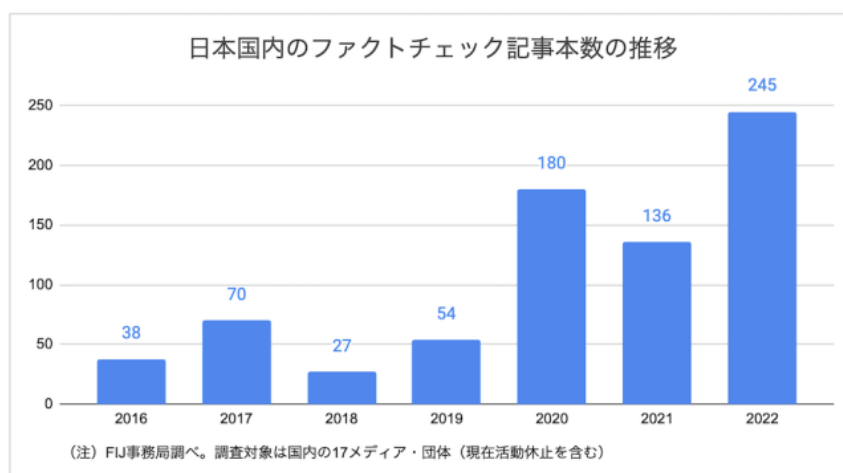
- 2022年のファクトチェック記事は245本、過去最多
- リトマス、世界のファクトチェック団体マップに掲載
- ファクトチェック2団体が編集スタッフを募集
- ファクトチェックアワード2023実施へ

（[WEB版](#)は2月3日に公開しました。）

▶ファクトチェック記事発表団体数・記事本数の調査・発表

2016～2022年にファクトチェック記事を1本以上発表した日本国内のメディア・団体数の推移、年間のファクトチェック記事本数の推移を調査し、前記「ファクトチェック通信」で発表しました。





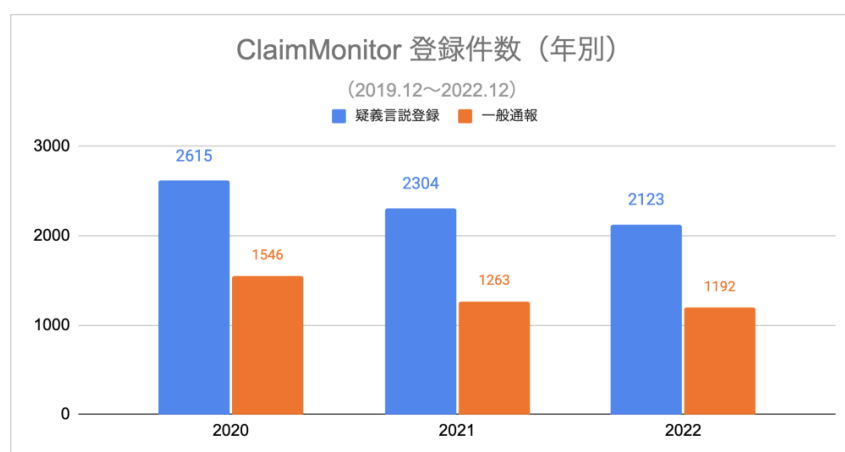
ファクトチェック支援システムの運用

▶ 疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の1月の新規登録件数は169件でした。一般からの情報提供は95件でした。

FIJサイト更新など

2022年の[年間活動報告書](#)、FIJの[団体概要資料](#)を掲載しました。
また、ClaimMonitorの登録件数推移のグラフを[掲載しました](#)。



理事の対外活動・メディア出演等

- 楊井理事が1月24日、静岡雙葉高校の講師として登壇し、高校1年生を対象に、ファクトチェックの授業・ワークショップを行いました。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。



活動レポート

2023 年
2 月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2023年2月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取組み

▶ファクトチェック・ナビの更新

2月は、6件の[ファクトチェック結果](#)、18件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

▶ファクトチェック通信（メールマガジン）の発行

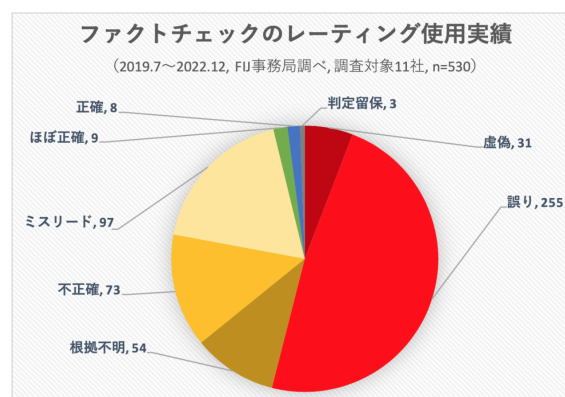
2月27日に「国立感染研の文書不開示決定を覆す成果 InFactの指摘で」のタイトルで発行しました。

<主な項目>

- FIJレーティング基準の活用は11社 使用実績500件超に
- 日本のニュースサイトの偽情報リスクを評価 GDI、報告書を発表
- 総務省PF研、偽情報対策の課題を整理 FIJや各事業社が発表
- 国立感染症研究所がInFactの指摘で見解修正
- InFact・田島氏が日弁連から受賞
([WEB版](#)は3月1日に公開しました。)

▶FIJレーティング基準の活用状況を発表

FIJのファクトチェック・レーティング基準を活用したメディアとその使用実績を調査し、前記「[ファクトチェック通信](#)」で発表しました。



▶総務省PF研で日本のファクトチェックの課題を報告

総務省の[プラットフォームサービスに関する研究会](#)（PF研）が2月10日に開催され、偽情報対策に関連する民間の取組みと課題について、FIJの楊井理事が発表を行いました。日本のファクトチェックが抱える課題を整理した[配布資料](#)が総務省のサイトで公開されています。

なお、PF研が20年2月に発表した[最終報告書](#)、22年8月の[第二次とりまとめ](#)には、民間主導の「ファクトチェックの推進」の必要性が明記されています。

▶ファクトチェックアワード選考委員5名を委嘱し、初会合

今春実施するファクトチェックアワードの選考委員5名（外部委員3名、FIJ理事の内部委員2名）を選任し、2月27日、オンラインの初会合を行いました。外部委員の松田美佐・中央大学教授を選考委員長とすることを互選で決定し、今後の進め方について協議しました。

メディア・企業・市民との連携

▶ファクトチェックフォーラム会合を開催

2月10日、ファクトチェックフォーラムの会合（関係者限定招待制）を都内で開催しました。メディア関係者・研究者・企業関係者ら20名が参加し、それぞれの取り組み等について意見交換を行いました。



▶学生インターン4名を受入れ

FIJの事業活動へのインターンシップとして、新たに大学生4名が加わりました。3月まで研修を実施しつつ、ファクトチェックアソシエイトとしての業務体験を行ってもらう予定です。

ファクトチェック支援システムの運用

▶疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の2月の新規登録件数は153件でした。一般からの情報提供は81件でした。

理事の対外活動・メディア出演等

- 瀬川理事長が所長を務める早稲田大学次世代メディア・ジャーナリズム研究所がグローバル・ディスインフォメーション・インデックス（GDI）と共同で、日本の主要なニュースサイトの偽情報リスク調査の報告書『[偽情報のリスクアセスメント：日本のオンラインニュース市場](#)』をとりまとめて公表し、2月28日に[説明会](#)を開催しました。
- 藤村副理事長が、「[メディア情報リテラシー研究（第4巻第1号）](#)」（発行：法政大学図書館司書課程）に「総務省の新『リテラシー指針』、異なる視点から読む」を寄稿しました。
- 楊井理事が、[Yahoo!ニュース個人](#)でファクトチェックの意義を訴える記事などを発表してきたことが評価され、「[10周年オーサースピリット](#)」賞を受賞しました。
- 古田理事が、日本ファクトチェッセンター編集長として、「[インターネット白書2023](#)」（発行：インプレス NextPublishing）に「日本ファクトチェックセンター設立の経緯と日本の偽情報・誤情報をめぐる現状」を寄稿しました。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。



活動レポート

2023 年
3 月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2023年3月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取り組み

▶ファクトチェックアワード募集開始



3月20日、社会的意義の高さが認められる優れたファクトチェック作品を表彰する「ファクトチェックアワード2023」の[特設サイト](#)を設置し、作品募集を開始しました。自薦・他薦による応募を4月20日まで受け付けます。選考委員会（松田美佐委員長）による審査を経て、受賞作を6月中に発表する予定です。

▶ファクトチェック・ナビの更新

3月には、12件の[ファクトチェック結果](#)、16件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

▶ファクトチェック通信（メールマガジン）の発行

3月30日に「Global Fact 10 ソウルで6月開催へ」のタイトルで発行しました。ほぼ同じ内容の[WEB版](#)を公開しています。

<主な項目>

- 世界ファクトチェック会議、6月28日からソウルで開催
- ファクトチェックアワード作品募集開始
- SMAJ 偽情報対策の行動規範を検討
- Twitterユーザー相互のファクトチェック本格化へ

メディア・企業・市民との連携

▶学生インターン研修

2月中に新たに登録されたインターンの研修が3月6日から始まり、3名の学生がファクトチェックやPC操作などの基本を学びながら、ファクトチェックアソシエイトとしての業務を体験しました。研修は引き続き4月上旬まで行われます。

ファクトチェック支援システムの運用

▶ 疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の3月の新規登録件数は135件でした。一般からの情報提供は180件でした。

社員総会の開催

3月23日午後2時より臨時社員総会（2022年度第1回）を開催しました。過年度会計の訂正と2023年度の事業計画等について審議を行い、議案はいずれも承認されました。

理事の対外活動・メディア出演等

- 瀬川理事長が所長を務める早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所が2月28日に開催した「偽情報リスクアセスメント報告書」に関する説明会の収録映像が公開され、リンクが[説明会案内記事](#)に掲載されました。
- 古田理事がNHKワールドの討論番組「[GLOBAL AGENDA](#)」の3月19日の放送に出演し、ソーシャルメディアにおける偽情報についてコメントしました。
- 楊井理事が3月30日、台北にて台湾ファクトチェックセンターのオフィスを訪問し、陳編集長と今後の協力関係について意見交換しました。MyGoPenの葉編集長ら主要メンバーとも面会し意見交換しました。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

